

学校図書館支援センター通信 155号



令和3年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

令和3年度文部科学省委託事業「学校図書館の活性化に向けた調査研究」 推進協力校 市川市立曾谷小学校

市川市では、平成21年度より文部科学省委託事業を継続して行い、市川市の学校図書館の推進に努めています。今年度は、「学校図書館の活性化に向けた調査研究」をテーマに、推進協力校の曾谷小学校にご協力いただきながら、学校図書館の活用についての調査研究を行います。

6月18日（金）に第1回企画運営委員会を開催しました。推進協力校から、校長先生、研究主任、司書教諭、学校司書の方々にご参加いただき、今年度の研究について話し合いを行いました。

曾谷小学校では、国語科の「読むこと」を中心に校内研究を行っています。今年度は、国語科を中心とした学校図書館活用の実践が期待できそうです。また、11月5日（金）に公開授業を行う予定で準備を進めていただいております。曾谷小学校の取組が、各学校の学校図書館の活性化につながってほしいと思います。

市川市学校図書館アドバイザー 小林 路子 先生より

小学校で昨年度から実施されている新学習指導要領では、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が示されています。中でも「どのように学ぶか」に着目すると「主体的・対話的で深い学び」の実現であり、学校図書館の活用もあてはまります。学校図書館活用というと「習得・活用・探究」という深い学びの部分に目が行きがちですが、実は「対話的な学び」も大切です。学校図書館を活用して調べ学習をすると一人調べで交流は必要ないと考えてしまうかもしれません。しかし、一人調べであっても、小グループでの話し合いを入れていくことがとても大切なことです。新型コロナウイルス感染症の関係で難しい部分もあるかと思いますが、子ども同士が話し合う時間、交流を大切にしてほしいです。

図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



SDGsに
関連する
新聞記事
も一緒に
掲示して
います。

今年度の三中図書館のテーマは「SDGs」です。関連する本の購入に際しては5万円超の金額を充てました。司書教諭はこの図書を活用した授業を構想中です。図書室前の廊下には17のゴールのロゴを掲示し、その下に各目標に関連する本の表紙のコピーを掲示しています。さらに横のスペースには新聞記事の切り抜きを貼り、どの目標に関連している話題なのか番号を添えています。本の表紙も新聞記事も頻繁に更新し、生きている掲示になることを目指しています。

生徒には幅広くSDGsに関心を持ち、主体的に社会の問題を捉える目を養ってほしいです。

【市川市立第三中学校 学校司書 金子 紀子】

～自ら本を手取る子の育成をめざして～ 市川市立行徳小学校の実践紹介

昨年度の行徳小学校の研究主題は、「主体的・対話的に学び、気づきや考えを深めていく児童の育成」です。「児童一人ひとりが、自らの課題を設定することができればもっと学びたい、深めたいと感ずることができ、主体的・対話的な学びにつながるであろう」と仮説を立て研究が進められました。自ら資料を探すことができる児童の育成のためには、図書館資料の活用が必需となります。そのため、個々の求める資料を適切に提示できる学校図書館をめざして1年間取り組みました。また、児童の読書傾向を把握しながら、読書教育についても力を入れて行いました。

児童の様子から考える読書傾向

- 同じ本ばかり繰り返し借りる子は、借りただけで読んでいないのではないのか。
- 読みたい本が見つからない子は、本の面白さが伝わっていないのではないのか。
- ひみつシリーズ等の漫画や図鑑ばかりを好んで読んでいる子は、それらは楽しめるが、読み物の楽しさを感じていないのではないのか。

学校司書が考えた仮説

1冊の本を読み終える達成感を味わうことができれば、読み物の楽しさを感じることができるのではないだろうか。そして最後まで読んだ達成感と自信が、次（の本）につながり最後まで本を読む楽しさと習慣につながるのではないだろうか。

主な取組

- ①オリエンテーションでの利用指導
- ②本を読ませるための手立て
 - ・読書月間等の図書館行事の充実
 - ・国語科を中心に教育課程を利用して、読書の幅を広げる。
- ③児童の「もっと調べたい」という想いを大切にしたい支援

年度のはじめに行うオリエンテーションでは、図書の分類番号を意識して図書の貸出・返却ができるように利用指導を行いました。分類番号を意識することで、書架から必要な図書資料を選ぶことができ、自ら資料を探す力の育成につながります。また、9類（物語）が読み物と思い込んでいる児童も多いので、伝記を含めた歴史読み物（2類）、動物や昆虫等の生き物の生態を含めた科学読み物（4類）など、幅広い分野の図書を手にとれるように声かけしています。



おすすめ本のポスターの横にポケットをつけて、おすすめの本と一緒に掲示。「読みたい本」にすぐ手に取ることができる」と児童に好評でした。



ブックトークで紹介した図書は、ブックトラックに入れて別置して、貸出冊数の制限に関係なく借りられるようにしました。



読書月間で行った読書郵便など、友達との情報交換を積極的に活用して、「読みたい」という意識を高めるようにしました。

学校司書や担任の先生が、貸出返却の際に、児童一人ひとりにその本の楽しさを伝え、最後まで読むように繰り返し声かけをしていくことで、児童の意識に変化が表れます。

令和3年度 学校図書館年間利用計画

令和3年度の学校図書館年間利用計画作成にご協力いただき、ありがとうございました。

中学校では4月より新学習指導要領が本格実施されましたので、新しい教科書の単元をもとに年間利用計画の見直しを行っていただきました。今年度も、各学校で作成していただいた年間利用計画をもとに、市川市全体の学校図書館年間利用計画を作成しました。学年ごとに集計をしてまとめた年間利用計画と各学校の年間利用計画をPDFにしたデータを市内共有フォルダ内に保存してあります。年間利用計画を印刷して職員室に掲示するなど、必要に応じてご活用ください。

各学校の利用計画を共有することで、自校の学校図書館活用の参考にしていただき、ネットワーク便の計画的な利用にご活用いただければと思います。

《学校図書館年間利用計画の保存先》

市内共有>R3>【教育センター】学校図書館>2021年度学校図書館年間利用計画集計

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

